



長期的視点

- 再生可能エネルギーの活用：創エネ
- 建物の省エネルギーの徹底：省エネ
- 森林整備・保全によるCO₂吸収：吸収

三重大学 キャンパスのカーボンニュートラル（省エネ編）

知ってましたか？

キャンパスの校舎は、伊勢湾に面して建てられています。

建物の省エネルギーの徹底に、60年前から取り組んでいます。

ちなみに
省エネルギーという言葉が一般的に使われ始めたのは、第一次オイルショックの頃で、50年前です。

◆環境負荷の軽減、省エネに対する取り組み

■ いつから？

現在の総合研究棟IIは、1965（昭和40）年に農学部（現、生物資源学研究科）の校舎として建設された建物です。

前身の三重高等農林学校時代に建設された木造建物から鉄筋コンクリート4階建て建物に建て替えられた際に、伊勢湾に面して建物が配置されました。



上浜キャンパス航空写真（昭和44年頃撮影）
(三重大学農学部1972『創立50周年記念誌』pp.6-7)

■ 当時の暑さ対策

冷房が認められなかった当時、夏季の蒸し暑さをどう乗り切るかが課題とされ、伊勢湾からの海風を取り入れることに重点が置かれ、伊勢湾に面する南東向きに建物が配置されました。その後も、キャンパスの建物は同様に配置され、現在に至っています。



伊勢湾に面する校舎（2007年7月25日撮影）



上浜キャンパス航空写真（2024年5月4日撮影）



地域イノベーション研究開発拠点
A・B棟パース（東面）（2026年度完成予定）



2050カーボンニュートラルに向けた取組計画
国立大学法人 三重大学
地球環境センター
施設部 2024年11月

